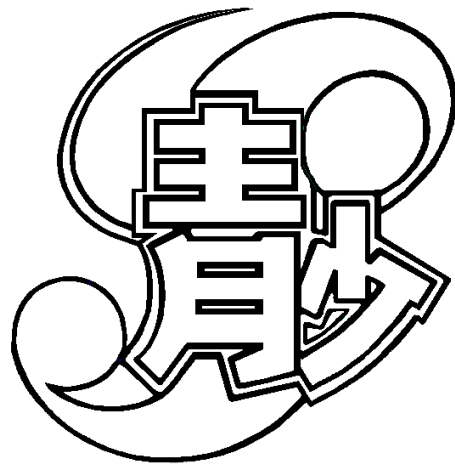


平成16年度 事業報告書



財団法人 静岡県青少年会館

〒420-0068 静岡市葵区田町1 - 70 - 1

Tel 054-255-2566 Fax255-2507

E-mail info@youthnet.or.jp

URL www.youthnet.or.jp

***** 目 次 *****

平成16年度事業報告

事業の総括 1

事業の概要 2

- 1 管理運営に関する事業
- 2 青少年団体及び青少年の健全育成に関する事業
- 3 青少年の研修会等に関する事業
- 4 青少年に関する調査研究及び資料等の収集事業
- 5 その他の事業

庶務の概要 10

- 1 役員に関する事項
- 2 職員に関する事項
- 3 会議に関する事項
- 4 許可認可及び承認に関する事項
- 5 契約に関する事項
- 6 寄付に関する事項
- 7 借入金に関する事項
- 8 教育委員会の指示に関する事項
- 9 その他重要事項

平成16年度収支決算報告

収支計算の部 15

正味財産計算の部 18

貸借対照表 19

監査報告 20

事業の総評

前年度の事業報告の冒頭に少年犯罪や社会現象に触れ、青少年に及ぼす影響を苦慮してきたが、その傾向や状況はまさに拍車をかけ顕著となって、生活弱者や青少年などにその刃が向けられたことは大変残念で悲しい事態である。

当財団の使命は、青少年の健全な育成にあることは言うまでもないが、これまでとは違った環境の変化の中で、新たな課題が浮かび上がっていることを読み取れることに注目しなければならない。よい子を育てよう目指した教育の指針は、いつのまにか学力に偏重された評価へとなり、そこで学んだものをどこで、どのように活かすかは二の次となってしまった。また、興味の無いところにもよいテスト結果を強いるところとなり、まさに勉強であり、学ぼうとする意欲や姿勢は根づいてこなかったかのようである。こうした背景を一面に、子ども達は友達との関わり方や将来的展望、夢を描くことが難しくなっており、ものの豊かさからほしいものは難なく得られる環境で、切に欲しいと駄々をこねることもなく、働いて得ようとしないうち、またそうさせない時代であるとも受け取れる。

反面、それらの影響からは、人と関わることを避け、友達すら自分の本当の気持ちを打ち分けられない青少年の姿が見えてきた。「こんな服を着ていたら嫌われるのではないだろうか」、「そんなことを言うと嫌われるのではないか」、「少しでも誘いを断れば仲間はずれになるのではないか」など、自分自身がどう思われるのだろうかと怯え恐怖を感じる。結果として、自らの行動を極端にひかえ、自らを明らかにしないことが身を守る最善の手段とばかりに人との関わり方に苦慮し、交際の範囲を広げることが難しいようである。このことがトラウマとなり、その後の段階においても人間関係をさらに難しく又、大きな問題としてとらえる現代青年の特徴ともなっていると考えられる。

こうした人間関係づくりや発達課題に対する到達においては、実体験から学び取っていかねばならず、将来に渡り致命的な状態を招く前、つまり大きな挫折感を味わう前に様々な体験を通して、小さな挫折感を体験することで、同じようなことでの挫折感を味わうことなく、やり過ごせたり、その経験を次に生かしたりして、よりよい人間関係等を築いていって欲しいと願っている。今必要なことは、実体験の中から自ら掴み取ることであり、その中から生まれる興味や関心事が将来に大きな影響と方向を実感することではないだろうか。混沌とする現代、本人主体で本人も回りも人それぞれの将来を考えられることが必要とされているのではないだろうか。

青少年会館の財政は、相変わらずの低金利時代の中で基金運用を検討はするものの、その性格上受ける制約は大きく、市場の実績や有効性を裏づけしても、指導方針は旧態のまま運用も思うように行かず、法的改善が望まれるところである。

経営改善計画により進めてきている経費削減は、今や「予算はない、ないところでどうする」という状況にあり、関係者の協力もあって役職員一丸となって取組み、どうにか原型を維持しているところである。こうしたアットホームな雰囲気は、開館以来築いてきた26年の歴史の中に刻まれてきたものであり、ある意味最後の砦として或いは、青少年の拠り所であることの証として存続させなければならない資質の一つであるかもしれない。そのためには、これからの青少年にも心通わせ、物としての青少年会館ではなく、生涯において受け継がれるべき精神と実践によって強い絆となることが切に望まれる。

そのためにも青少年を取り巻く環境から生まれる新たな課題への取組みを青少年会館の使命として大きく掲げ、先々の社会状況等への警鐘とともに、具体的対応策をより具体的取組みとして実践していく必要がある。

事業計画概要

1 静岡県青少年会館の管理運営に関する事業

(1) 会議室の利用実績

会議室が、青少年の活動や地域における一般県民の学習や研修の場として利用された実績は、下表及び別表に示したとおりである。年間の開館日数は、祝祭日等を除く342日で、統計は、貸会議室の数12室と静岡市へ貸し付けられている静岡市青年研修センター分室を合わせたものである。また、団体事務室として6室あり、県青年団・YMYA・ガールスカウト・ボーイスカウト・県子ども会・県レクリエーション協会がそれぞれ入居している。

区分	会議室利用回数	会議室利用率	利用人員
本年度	2,427室	22.1%	73,310人
前年度	2,476室	22.0%	78,454人
増減	-49	0.1	-5,144

貸し会議室のうち、第12会議室(スタジオ)は8月から11月までの間改修工事が行われ利用されていない。年間の利用状況を分析すると、利用率はほぼ前年度並で、月別の利用率の変化も8月を除けば大きくは変わった月はなく、結果として平均利用率を0.1ポイント上げる結果となっている。8月の減少は、高校の夏期講習が前年度より縮小されたことによる。この時期を除けば、年間平均した利用状態であるといえるが、以前のような一般団体のうち趣味の団体が利用することが極端に少なくなっていることは事実で、利用状況もそれに沿って季節的な変化があったことを思い出す。反面、健康ブームの続く中で行政が行う講座や一般の健康セミナーなどの利用者は増えている。会社の研修や会議での利用は相変わらず少なく、景気の先行き不安定な状態をうかがわせ、経費削減のために貸し会議室を利用するまでにはいたっていないものと考えられる。また、施設の老朽化やこれまでのように駐車場を確保出来ないことによる顧客離れは著しく、新規の顧客もある反面継続的に利用していただいた団体の利用がなくなるという事態にもいたっている。

利用者人数においては、全体的には減少しているものの月ごとに見た場合には増加月数と減少月に大差はなく、駐車場がなく利用できないとする団体の利用が減ったことによるもの等全体的影響である。青少年団体と一般利用割合とを比べると、一般の利用が47.8%で前年度より2.5ポイント上げていることに変化がみられる。このところの一般利用者層の減少も下げ止まり、上昇傾向にあることは大いに歓迎すべきことである。

利用時間帯から見た場合、時間帯別の利用率には昨年度と殆ど変化は見られない。これまで午前・午後が20%前後、夜間は30%あったことに比べれば、夜間の利用促進が望まれるが、受入のための駐車場がないことにはやすやすと利用してはもらえないことも現実である。平日の昼間においてはまだまだ余裕があるが、会社や団体の会議等での利用に期待は薄く、逆に土日の状況では、予約が多いときには駐車場を確保できないということを前提に話を始めなければならないことも含め、現状ではどうしても出来ない実情等多くの問題を残している。

今後も新規の開拓や趣味の団体への支援などにより付随的に収益を上げられる努力をしていかなければならないが、青少年にとどまらず事業の展開を積極的に行っていくことで集客あるいは利用の拡大等を図って行きたい。

(2) 施設・設備の整備事業

環境美化

会館周辺の花壇の整備を行うと共に、静岡市のボーイ・ガールスカウト達によって活動の一環として取り組んでいただいた。また、ロビー周辺の整備を行ったところ、座布団の寄附などの善意が寄せられた。

施設・設備の整備

建物の老朽化に伴い長らく雨漏り等に悩んでいるが、応急処置ながら外壁や張り出し部分の修繕をし、目立った雨漏りは改善されたものの抜本的な回収が必要である。また、スタジオ天井部分は静岡県によって回収され問題の解決となっている。

東海地震の対策の一環から、静岡県は県有施設の対震工事予定を発表し、当会館の対震工事については、平成21年度において実施する計画を伝えてきた。ただ、今後青少年会

館の利用や役割について、存続を含めた検討がされるものと考えられ、財団としての将来的な計画と実態を明らかにしておく必要がある。したがって、早急に東海地震の対策としてだけでなく、21世紀マスタープランの見直しをする中でより実践的な行動をとおして将来的なビジョンと経営方針を打ち出していくことが急務である。

2 青少年団体及び青少年の健全育成に関する事業

(1) 青少年団体特別育成事業

目的 青少年の健全育成に当る団体活動を奨励し、青少年団体への支援体制を強化する。

内容 青少年団体活動の奨励を図るため、次の特別育成団体へ資金の援助を行った。

静岡県青年団連絡協議会	150,000円	
YMAYA	50,000円	
ボーイスカウト静岡県連盟	150,000円	
ガールスカウト静岡県支部	150,000円	
静岡県子ども会連合会	150,000円	
静岡県青少年会館友の会	150,000円	計 800,000円

(2) 地域活動活性化プロジェクト

目的 県下に青年団体活動のモデル地区を設け、その地域に生活する研究員が、団体や行政等との連携を図りながら、地域テーマに基づき活動の活性化を進める。

内容 青少年活動研究所員を中心とした地域青少年団体支援スタッフは、市部または、広域市町村単位で積極的な支援活動を行った実績は次のとおりである。

静岡地区	壮年団の地域起こし、青年団の再生に関する支援活動
清水地区	清水市青・少年の船に関する支援活動
岡部町	子どもプレーパークへの支援

3 青少年教育の研修会等の開催に関する事業

(1) コースネット

目的 青少年に関する活動情報を提供するコーナーをインターネット上に設け、青少年団体や事業の紹介、研修施設等の情報を掲載し活用性ある情報ネットワークを運営する。また、地域の情報の確保や青少年に関する意見の交換等を行う場を設ける。

内容 インターネットに「YOUTHNET」というホームページを継続開設し、青少年活動の情報源として有効利用すると共に、団体・活動施設等のデータベース情報を検索できるページを運営し、青少年及び青少年団体活動で活用される情報発信を行った。また、パソコン等を活用した情報の収集・提供、会員登録等の事務処理、広報誌の製作など団体活動の実務的なことについて、その技術的アドバイスをすると共に、インターネットを活用しデータベース化した情報や意見交換の場を提供することで、広く青少年に社会参加を促すものとした。

(2) その他の研修会事業

目的 青少年団体等からの要請に応じ、活動または指導者やリーダーの育成に必要とされる技術や知識の習得を目的とする研修会・講習会等を開催し、青少年の活動を積極的に支援する。

内容 パソコンを活用した活動の推進を図るために、ホームページ作りやアプリケーションソフトを使った事務処理講習等を随時実施した。

4 青少年に関する調査研究及び活動資料等収集事業

(1) 青少年活動研究所

目的 青少年活動研究所設置要項に基づき、青少年や青少年団体活動のあり方等について研究し、県下青少年活動の発展に寄与する。

内容 研究所研究員は、個々の研究テーマにより活動を通じた実践研究や関係者との協議の中で研究活動を行った。また、当会館の公益事業の企画・検討に際しスタッフとして活躍しており、青少年会館の有力な人財集団として期待が大きい。

(2) 青少年教育歴史研究事業
 目的 これまでの青少年団体及び育成事業を調査研究し、時代の取り組みや効果等を明らかにして、新世紀の青少年教育のあり方を深く追求する資料の整備を行う。また、その資料を有効活用するためのデータベース化を進める。

内容 昭和20年から現代までの青少年団体や青少年教育行政等が行ってきた歴史を振り返り、団体及び指導者の蔵書、資料から時代背景や指導内容等が一覧できるデータベース化のための作業に合わせ、その資料の収集と整理に努めている。また、研究者からの問い合わせにも応じており、更に活用性ある資料の整備に努めていきたい。

(3) 会館基本構想事業
 目的 現在の青少年教育のあり方を模索する中で、青少年会館の果たすべき役割や意義について研究すると共に、運営の分析と事業の今後の在り方等を明らかにする「21世紀プラン」を推進する。

内容 基本構想委員会の答申に基づき、青少年及び青少年会館の課題と今後の展望を検討し、当面する課題への取組みと基本的視点での見直しを図った「経営改造計画」による活動実践を行った。

公益事業のあり方と収益事業 ... 事業収支を見据えた事業の実施
 基金の運用について ... 預け替えを迎える運用の検討
 青少年団体の活性化と会館の役割 ... 青年団体の存続に関する提案
 新規事業の方向 ... 新規事業の検討

(4) 青少年に関する資料の収集
 目的 各種青少年団体の総会等の資料、青少年関係の資料、図書等の収集整備に努め、統計資料の作成及びこれに関係機関等へ提供した。

5 その他の事業

(1) 青少年団体・サークル加入相談活動
 目的 青少年団体やサークル等への加入及び活動についての相談を窓口業務を実施する。
 内容 インターネット及び来館による問い合わせにより、希望団体及び参加事業等紹介をした。その他、青少年のための公的講座等の問い合わせについても紹介している。

(2) マイクロバス事業
 目的 青少年活動の拡大と人員や教材等の移送を支援するため、マイクロバスを青少年団体や育成事業に提供し、本会館の主催事業と合わせてその効果的な運用を図る。
 内容 青少年団体の活動等に利用された実績は、下記のとおりである。

区分	前年度	本年度	増減	主な利用者
稼働日数	89	85	4	青年団・サークル・ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会・スポーツ少年団 他
稼働率	25.1%	23.9%	1.2	
利用者	1,047人	1,069人	22	

(3) 青少年交流スペース「アンダンテ」事業
 目的 社会的ひきこもり青少年の社会参加のための支援活動及びその家族に対する支援を行うと共に、これらひきこもる青少年のメカニズムや環境が及ぼす影響などの実態を研究協議し、今後の課題や理解を求めるために広く県民に周知する。

内容
 場所 静岡市馬淵1丁目アザレア5階 アンダンテルーム他
 相談機能 (メンタルプログラム)
 カウンセリング(本人・家族)
 グループカウンセリング(本人・家族同士、本人と家族)
 面接相談 毎週 火・木・土曜日 10:00~16:00
 カウンセラー対応 50分/人
 指導員等対応 希望により逐次
 電話相談(本人・家族・関係機関等)月~土 9:30~16:00

交流機能 (アクションプログラム)
 フリースペース(本人) 月～土曜日 10:00～16:00
 自由に過ごせる場の提供と相談相手の配置
 ファンスペース(本人) 不定期
 興味のあることへのチャレンジ
 物作り・体験からのコミュニケーションプログラム
 ふれあいスペース(親の会) 毎月1回開催

対 象 次のような傾向がみられる15～30歳程度の青少年とその家族
 ・一定期間以上家庭等にひきこもっている
 ・人づき合いが苦手 ・学校や会社へ行きたがらない
 ・はっきりとした理由がわからないまま学校や会社を辞めた

その他 ひきこもりに関する研修会の実施及び講師の派遣
 関係機関等との支援体制に関する研究協議
 ひきこもり青少年及びその家族に対するカウンセリング及び電話相談等の実績は、下表のとおりである。また、カウンセリング実務研修会の実施やその支援体制に関する研究をあわせて行っており、他県からの視察問合せ等を受けている。

月別利用状況

メンタルプログラム

年月日	日数	面接相談			電話相談等					手紙 FAX
		カウンセラー	アドバイザー	計	相談	予約	その他	留守電	計	
4月	25	35	4	39	122	5	12	5	144	8
5月	23	40	7	47	101	7	9	2	119	17
6月	26	40	33	73	136	10	33	8	187	51
7月	26	56	19	75	99	16	15	8	138	46
8月	26	57	24	81	73	20	11	11	115	53
9月	24	70	21	91	97	25	28	18	168	51
10月	25	60	19	79	96	13	16	3	128	55
11月	24	52	33	85	107	20	51	5	183	59
12月	22	63	16	79	133	23	32	17	205	61
1月	23	52	18	70	70	31	43	11	155	60
2月	23	44	20	64	109	31	50	3	193	64
3月	26	63	26	89	102	33	30	4	169	57
合計	293	632	240	872	1,245	234	330	95	1,904	582
	24.4	52.7	20.0	72.4	103.8	19.5	27.5	7.9	157.9	48.5
平均 日		2.2	0.8	3.0	4.2	0.8	1.1	0.3	6.5	2.0

アクションプログラム

月	日数	フリースペース		ファンプログラム		その他		計		スタッフ
		利用者	平均	利用者	平均	利用者	平均	利用者	平均	
4月	25	203	8.1	42	1.7	50	2.0	295	11.8	95
5月	23	203	8.8	56	2.4	31	1.3	290	12.6	101
6月	26	208	8.0	53	2.0	63	2.4	324	12.5	116
7月	26	221	8.5	33	1.3	57	2.2	311	12.0	128
8月	26	191	7.3	44	1.7	16	0.6	251	9.7	108
9月	24	145	6.0	60	2.5	24	1.0	229	9.5	106
10月	25	190	7.6	11	0.4	22	0.9	223	8.9	112
11月	24	163	6.8	20	0.8	20	0.8	203	8.5	103
12月	22	176	8.0	58	2.6	51	2.3	285	13.0	108
1月	23	150	6.5	15	0.7	38	1.7	203	8.8	108
2月	23	114	5.0	9	0.4	45	2.0	168	7.3	115
3月	26	113	4.3	13	0.5	14	0.5	140	5.4	123
合計	293	2,077		414		431		2,922		1,323
平均	24.4	173.1	7.1	34.5	1.4	35.9	1.5	243.5	10.0	110.3

ファンプログラム 活動の内容

青年プログラム

農園活動	芋掘りと焼き芋大会
清掃活動	アンダンテ大掃除 運動 ハイキング
親子バーベキュー大会	クリスマスパーティ 鍋パーティー
人形作り	プリントTシャツ作り
カレー作り	カメラ教室
クリスマスケーキ作り	イラスト講座
日常生活のヘルス講座	お花見
カラオケ大会	ジョブトレーニング

ふれあいスペース

ふれあいスペースは、社会的ひきこもり状態の青少年を抱える親とスタッフとが相互に学びあい、家庭での回復プログラムの実践を通して青少年とどう関わり支援していくかを参加者の経験等からヒントを得て自らが実践することにある。

毎月第三土曜日を定例として、日頃の苦労をひと時でも安らげる場と研鑽の場を設けている。

研修会の開催

県心と身体健康センターとの定期研修会を開き、医療と教育の立場から相互のあり方や対応に対する意見交換等を行った。また、関係機関との連携に関する研修会や団体等が行った講演会等にも参加した。

その他

社会的ひきこもり青年に対する理解や支援のあり方等について、広く周知し、社会が丸となってこれらの社会問題に取り組むことの必要性を訴えた。

平成16年度

講演・講話一覧

日時・曜日	事業名	会場・参加者	依頼者
4月5日(月) 13:00~14:00	富士宮市青少年相談センター開所式・講演	同左センター 30名	富士宮市教委 教育長
4月21日(水) 19:30~20:40	富士市青少年指導委員 全体研修会	富士市役所消防防災 庁舎 150名	富士市青少年 相談所長
6月9日(水) 9:30~11:30	家庭教育サポート協会 ハートメイト養成講座	藤枝市文化センター 20名	家庭教育サポート協会
6月26日(土) 13:00~16:00	志太榛原不登校親の会	島田市六合公民館 20名	同左親の会
7月28日(水) 13:00~16:00	富士市小学校夏季 職員研修会	富士市丘公民館 30名	富士市 丘小学校長
7月29日(木) 9:30~12:00	沼津市小・中学校生徒 指導研修会	沼津市民文化センター 100名	沼津市教委 教育長
10月21日(木) 10:00~11:30	子育てステップアップ 講座	富士市青少年相談所 18名	富士市青少年 相談所長
11月26日(金) 13:30~15:00	フリースペース陽だまり 不登校等意見交換交流	同フリースペース 10名	NPO法人 三心会
12月8日 16:00~17:00	富士宮市立富士根南 中学校・職員研修会	同中学校会議室 30名	富士根南中学校長
1月12日(水) 15:00~16:45	裾野市生徒指導講演会	裾野市民文化センター 40名	裾野市教委 教育長
1月19日(水) 14:00~15:30	富士市不登校親の会 講演会	富士市青少年相談所 20名	富士市青少年 相談所長
2月13日(日) 14:00~15:00	富士市浮島地区 青少年健全育成会議	富士東公民館 30名	同左健全育成会会長

(4) 青少年会館活動後援会

本年度、青少年の健全育成と青少年会館の事業に深いご理解と財政的支援をもってご協力いただいた、後援会会員の方々は次のとおり。(敬称省略)

静岡県青年団連絡協議会
ガールスカウト静岡県支部
静岡県子ども会連合会

Y M Y A
ボーイスカウト静岡県連盟
静岡県青少年会館友の会

サクライ石油株式会社
株式会社シラトリ
株式会社東興
株式会社ニッセー
株式会社ニッセー日本平ホテル
静岡県カントリークラブ袋井ゴルフコース
静岡県カントリークラブ島田ゴルフコース
静岡県カントリークラブ浜岡ゴルフコース
株式会社江崎新聞店
株式会社長谷

(株)やまだ学生服
司法書士藤原雅夫事務所
松崎化成株式会社
瑞光寺
静岡県ボウリング場協会
静岡県石油商組合連合会
菱和設備株式会社
不二化成品株式会社
木内建設株式会社

伊代田輝一
佐藤忠正
山室 強
山本亮治
寺田 晋
秋鹿 博
小笠原宏昌
松本光生
杉本忠重

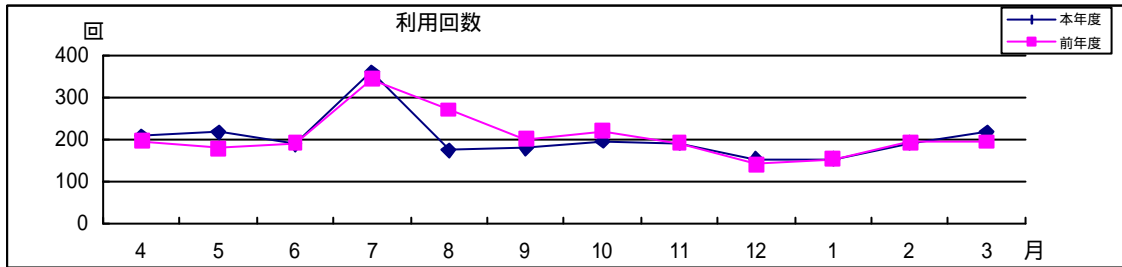
曾根恵津広
村越副武
大石節雄
入海昭司
八木彰五
伏見彰久
米沢国雄
望月 清
野崎正蔵

別表

会議室利用状況

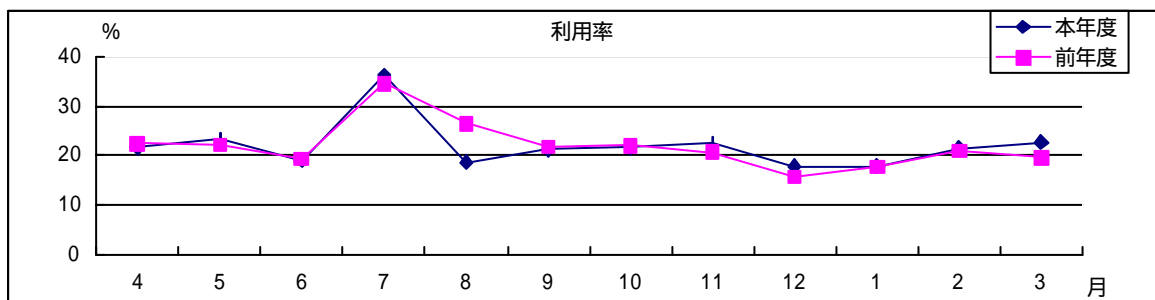
会議室利用回数 (会議室の変更 = 増加2室、1室減)

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
特別会議室	4	10	13	28	13	12	13	11	9	6	14	15	148
11 会議室	23	27	26	44	38	36	40	29	26	30	29	28	376
12 会議室	20	16	11	8	← 改修工事 →				12	16	19	22	124
大会議室	32	27	21	37	19	14	18	28	22	11	15	22	266
24 会議室	31	33	28	43	27	24	20	26	19	22	23	22	318
25 会議室	43	42	42	51	34	39	40	35	27	32	37	36	458
26 会議室	5	9	4	25	15	6	15	9	6	8	10	15	127
ITルーム	1	1	1	2	1	0	1	1	1	0	1	0	10
31 会議室	19	20	9	37	12	19	20	16	11	13	19	19	214
32 会議室	8	9	9	30	8	11	12	14	8	7	7	11	134
33 会議室	14	12	17	33	7	11	13	10	8	6	15	22	168
34 会議室	7	11	7	21	0	7	4	11	5	2	3	6	84
合計	207	217	188	359	174	179	196	190	154	153	192	218	2,427
前年度	196	180	192	343	271	201	219	191	141	153	194	195	2,476
増減	11	37	-4	16	-97	-22	-23	-1	13	0	-2	23	-49



会議室利用率

室/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
特別会議室	4.6	11.9	14.4	31.1	14.0	14.3	14.4	13.1	11.5	7.7	17.3	17.2	14.3
11 会議室	26.4	32.1	28.9	48.9	40.9	42.9	44.4	34.5	33.3	38.5	35.8	32.2	36.6
12 会議室	23.0	19.0	12.2	8.9	-	-	-	-	15.4	20.5	23.5	25.3	18.5
大会議室	36.8	32.1	23.3	41.1	20.4	16.7	20.0	33.3	28.2	14.1	18.5	25.3	25.8
24 会議室	35.6	39.3	31.1	47.8	29.0	28.6	22.2	31.0	24.4	28.2	28.4	25.3	30.9
25 会議室	49.4	50.0	46.7	56.7	36.6	46.4	44.4	41.7	34.6	41.0	45.7	41.4	44.6
26 会議室	5.7	10.7	4.4	27.8	16.1	7.1	16.7	10.7	7.7	10.3	12.3	17.2	12.2
ITルーム	1.1	1.2	1.1	2.2	1.1	0.0	1.1	1.2	1.3	0.0	1.2	0.0	1.0
31 会議室	21.8	23.8	10.0	41.1	12.9	22.6	22.2	19.0	14.1	16.7	23.5	21.8	20.8
32 会議室	9.2	10.7	10.0	33.3	8.6	13.1	13.3	16.7	10.3	9.0	8.6	12.6	13.0
33 会議室	16.1	14.3	18.9	36.7	7.5	13.1	14.4	11.9	10.3	7.7	18.5	25.3	16.2
34 会議室	8.0	13.1	7.8	23.3	0.0	8.3	4.4	13.1	6.4	2.6	3.7	6.9	8.1
平均利用率	21.6	23.5	19.0	36.3	18.7	21.3	21.8	22.6	18.0	17.8	21.5	22.8	22.1
前年度	22.5	22.2	19.4	34.6	26.5	21.8	22.1	20.7	15.8	17.8	21.0	19.7	22.0
増減	-0.9	1.3	-0.4	1.7	-7.8	-0.5	-0.4	1.9	2.2	0.0	0.5	3.1	0.1

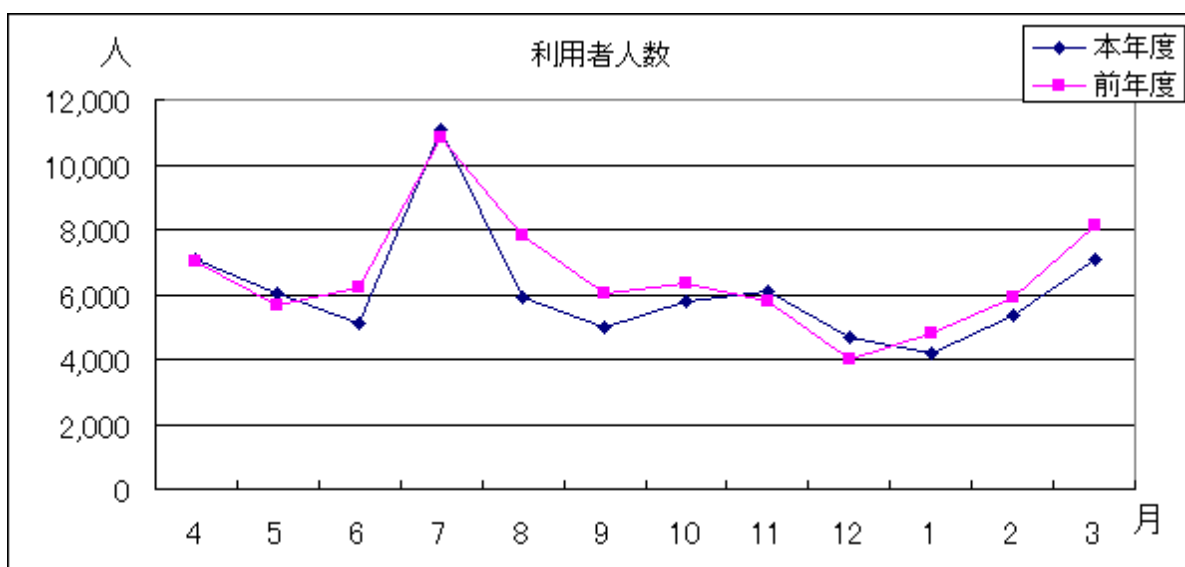


会議室別利用人数

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別会議室	50	115	145	375	215	165	170	145	105	70	195	195	1,945
11 会議室	680	695	670	1305	1200	1055	1200	845	730	800	845	845	10,870
12 会議室	515	260	145	180	-	-	-	-	330	360	400	490	2,680
大会議室	2405	1870	1270	2935	1665	1130	1130	2025	1145	450	790	1970	18,785
24 会議室	510	540	410	795	515	370	315	540	320	380	370	375	5,440
25 会議室	725	610	695	895	485	600	660	525	410	450	515	565	7,135
26 会議室	175	270	90	820	480	135	450	210	185	265	215	465	3,760
ITルーム	15	15	15	30	15	0	15	15	15	0	15	0	150
31 会議室	625	690	275	1205	335	525	675	495	340	370	880	585	7,000
32 会議室	215	175	190	1015	240	290	350	410	250	200	215	225	3,775
33 会議室	165	130	220	480	95	170	185	145	120	70	220	340	2,340
34 会議室	105	155	105	315	0	115	60	155	65	30	45	110	1,260
合計	6,185	5,525	4,230	10,350	5,245	4,555	5,210	5,510	4,015	3,445	4,705	6,165	65,140

利用団体別人員

室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
青少年	3,285	2,910	1,935	8,075	1,520	2,020	2,385	1,830	2,470	1,685	2,065	3,000	33,180
一般	2,900	2,615	2,245	2,275	3,725	2,520	2,795	3,680	1,500	1,760	2,640	3,130	31,785
自主	0	0	50	0	0	15	30	0	45	0	0	35	175
修センター	897	532	865	701	675	416	550	583	676	720	650	905	8,170
合計	7,082	6,057	5,095	11,051	5,920	4,971	5,760	6,093	4,691	4,165	5,355	7,070	73,310
前年度	7,004	5,644	6,239	10,805	7,821	6,048	6,336	5,755	3,973	4,825	5,887	8,117	78,454
増減	78	413	-1,144	246	-1,901	-1,077	-576	338	718	-660	-532	-1,047	-5,144



庶務の概要

1, 役員等に関する事項

(1) 役員

役職	氏名	就任	略歴	基準	備考
理事長	山本亮治	H16,6,23,	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	H10,6,2,
副理事長	望月治己	"	(株)長谷代表取締役	2-3	H8,6,26,
"	伏見彰久	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	H2,6,25,
理事	橋本嘉一	"	静岡県総務部長	1-4	H15,6,26,
"	鈴木善彦	"	静岡県教育委員会教育長	1-2	H14,6,24,
"	織田元泰	"	静岡市教育委員会教育長	1-3	H8,6,26,
"	角替弘志	"	常葉学園大学副学長	2-1	55,5,30,
"	遠藤 榮	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	2-2	53,4,19,
"	大石節雄	"	同上	2-2	
"	奥之山 隆	"	同上	2-2	H5,5,18,
"	鎌田まり子	"	静岡県青年団連絡協議会長	3-1	
"	小柳津友里	"	同副会長	3-1	H14,6,24,
"	鈴木敏彦	"	YMYA理事	3-1	53,4,17,
"	杉山博通	"	ボーイスカウト静岡県連盟理事長	3-1	H10,6,2,
"	中村幸子	"	ガールスカウト静岡県支部長	3-1	H11,6,12
"	望月安司	"	静岡県子ども会連合会長	3-1	H7,5,20,
"	寺田 晋	"	静岡市青年研修センター代表	3-2	
"	江崎和明	"	青年会議所静岡ブロック元理事長	3-3	
"	國行信晴	"	(株)中日本ｺﾝｶﾙﾀﾞﾝ代表取締役	2-3	H2,6,25,
監事	川村恭一	"	公認会計士	4-1	55,5,30,
"	佐藤忠正	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	4-2	H10,6,2,

(2) 顧問

役職	氏名	就任	略歴	備考
顧問	江崎千萬人	H16,6,23,	元理事長 江崎書店会長	(55,5,30,)
"	桜井一男	"	元理事長 サクライ石油社長	(59,6,8,)

(2) 評 議 員

役職	氏 名	就任	略 歴	基準	備 考
評議員	武藤葉子	H16,6,25,	県教育委員青少年課長	1-1	H11,6,17,
"	杉山 明	"	静岡市教育委員青少年課長	1-2	H14,6,26,
"	萩原一郎	"	静岡県青年団連絡協議会	3	61,6,18,
"	野崎正蔵	"	同 上	3	H10,6,8,
"	小笠原宏昌	"	同 上	3	H10,6,8,
"	山室 強	"	同 上	3	H10,6,8,
"	村越副武	"	同元副会長	3	H10,6,8,
"	窪田直充	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	3	H14,6,26,
"	鈴木俊久	"	静岡県青年団連絡協議会参与	2-2	H14,6,26,
"	鈴木理世	"	同 副会長	2-2	
"	相馬隆史	"	同 副会長	2-2	
"	杉本あつ子	"	同 常任理事	2-2	
"	酒井康吉	"	Y M Y A 会長	2-2	H14,6,26,
"	村松 誠	"	同 事務局長	2-2	53,4,17,
"	内野恵美子	"	ガールスカウト県支部会計	2-2	
"	山口貴美子	"	同副支部長	2-2	H14,6,26,
"	滝島三郎	"	ボーイスカウト県連理事	2-2	56,6,3,
"	林 晴二	"	ボーイスカウト静岡地区	2-2	H106,8,
"	八木彰五	"	青少年団体活動指導者	2-2	58,5,29,
"	谷澤靖策	"	県子ども会連合会副会長	2-2	
"	稲森庸生	"	子ども会リーダーズクラブ会長	2-2	
"	榊原浩高	"	静岡市青年研修センター代表	2-2	
"	指宿 瞳	"	同 上	2-3	
"	杉本忠重	"	静岡青年会議所	2-3	H10,6,8,
"	落合孝彦	"	同 上	2-3	H10,6,8,
"	雪島 昇	"	B B S 静岡県連盟代表	2-3	63,6,25,
"	渡辺実存	"	静岡県海外研修協副会長	2-3	56,6,3,
"	松本光生	"	静岡県4Hクラブ元会長	2-3	57,4,22,
"	小泉住雄	"	静岡県林業青年研究会元会長	2-3	H14,6,26,

(4) 運営協議会

役職	氏名	就任	略歴	備考
議長	伏見彰久	H16,7,1,	会館副理事長	
	松下喜彦	"	会館事務局長	
	磐本有子	"	県青連協事務局長	
	村松 誠	"	YMYA事務局長	
	大井千鶴子	"	ガールスカウト事務局	
	谷口初子	"	子ども会連合会事務局長	
	寺田 晋	"	静岡市青年研修センター代表	
	松田清孝	"	静岡県教育委員会青少年課	
	佐野敏博	"	静岡市青少年課主幹	

(5) 青少年活動研究所

役職	氏名	就任	略歴	備考
所長	山本亮治	H16,7,1,	理事長	
次長	望月治己	"	副理事長	
専門研究員	米澤國雄	"	副理事長	57,4,22,
	角替弘志	"	理事・常葉大学副学長	57,4,22,
	落合良行	"	筑波大学心理学系教授	H2,6,25,
	秋鹿 博	"	静岡県青年団連絡協議会顧問	H4,5,28,
研究員	曾根恵津広	"	同上	H4,5,28,
	石川統康	"	評議員	57,4,22,
少年部会	坂口良子	"	ガールスカウトリーダー	57,4,22,
	滝島三郎	"	評議員	57,4,22,
	八木彰五	"	評議員	57,4,22,
	杉本忠重	"	ボーイスカウトリーダー	57,4,22,
	佐藤文子	"	ガールスカウトリーダー	H2,6,25,
	中村正春	"	ボーイスカウトリーダー	H5,12,1,
	藤曲敏春	"	B・S地区コミッショナー	H5,12,1,
	高村賢一	"	ボーイスカウトリーダー	H8,7,1,
	粉川 智	"	ボーイスカウトリーダー	H7,6,1,
	富山洋子	"	ガールスカウトリーダー	H4,5,28,
青年部会	山口貴美子	"	ガールスカウトリーダー	H9,7,1,
	杉本照子	"	ボーイスカウトリーダー	H12,7,1,
	手島克訓	"	県青連協元役員	62,6,7,
	中野繁子	"	県青連協元役員	57,4,22,
	萩原一郎	"	評議員	59,6,23,
	伏見彰久	"	理事	59,6,23,
	渡辺哲史	"	青少年会館友の会	57,4,22,
	小川 功	"	県青連協元事務局長	63,6,25,
	小沢弘樹	"	静岡市青年団元会長	H4,5,28,

青年部会	大石節雄	H16,7,1,	理事	63,6,25,
	村上清隆	"	清水市青協元副会長	H2,6,25,
	酒井洋典	"	元清水市青協会長	H3,6,22,
	前田芳秀	"	県青連協元事務局長	H5,6,1,
	竹沢正樹	"	元清水市青年団連絡協議会役員	H9,7,1,
	坂西佳子	"	県青連協元事務局長	H9,7,1,
	堀池宜弘	"	元清水市青年団役員	H12,7,1,
	小野秀樹	"	元県青年団役員	H12,7,1,
	窪田直充	"	評議員	H12,7,1,

2, 職員に関する事項

役職	氏名	採用	業務内容
事務局長	松下喜彦	S53,11,1,	総括、連絡調整
事務員	岩見憲二郎	H16,4,1,	会館管理業務、
事務員	小澤弘樹	"	庶務
アンダンテ囑託	杉浦正二郎	"	カウンセラー
"	小澤 巖	H16,5,1,	
"	鹿田一枝	"	"
"	松井華枝	"	"
"	土屋むつ	H16,4,1,	青少年交流スペースアンダンテアドバイザー
"	今村靖子	"	" (青少年の指導、相談業務)
"	岡村美恵子	"	"
"	富山洋子	"	"
"	山口貴美子	"	"
"	高山壽重	"	"

3, 会議に関する事項

	年月日	議 題	備 考	
理 事 会	第 1 回 H16,6,25,	第 1 号議案	理事長及び副理事長選出の件	可決
		第 2 号議案	平成 1 5 年度事業及び決算報告の件	可決
		第 3 号議案	平成 1 5 年度収支決算報告の件	可決
		第 4 号議案	任期満了に伴う評議員の改選の件	可決
		第 5 号議案	平成 1 6 年度補正予算の件	可決
			その他 その他情報交換等	
	第 2 回 H17,3,23,	第 1 号議案	平成 1 7 年度事業計画に関する件	可決
		第 2 号議案	平成 1 7 年度予算に関する件	可決
		第 3 号議案	諸規程の一部改正の件	可決
			その他の報告事項等	

評議員会	第1回 H16,6,22,	第1号議案 平成15年度事業報告の件 第2号議案 平成15年度収支決算報告の件 第3号議案 任期満了に伴う理事の改選の件 第4号議案 平成16年度補正予算の件 その他 その他情報交換等	可決 可決 可決 可決
	第2回 H17,3,16,	第1号議案 平成17年度事業計画に関する件 第2号議案 平成17年度予算に関する件 第3号議案 諸規程の一部改正の件 その他の報告事項等	可決 可決 可決

4, 許可、認可及び承認に関する事項 該当なし

5, 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
H15,4,1,	静岡県	県有財産無償貸付契約(土地・建物)
"	静岡県	県有物品貸付契約(備品)
"	静岡市	賃貸借契約(静岡市青年研修センター分室)
"	株式会社総合警備保障	深夜機械警備業務委託契約(年間)
"	中部電気保安協会	消火機器点検保守業務委託契約(年間)
"	中部電気保安協会	電気保安業務委託契約(年間)
"	静岡甲株式会社	空調機器保守点検業務委託契約

6, 寄附に関する事項 該当なし(会館活動後援会扱いを除く)

7, 借入金に関する事項 該当なし

8, 教育委員会の指示に関する事項 該当なし

9, その他重要事項

(1) 静岡県教育委員会法人検査

業務及び財産の状況に関する検査

監査対象 事業及び会計等運営全体に関する実施状況

期日 平成16年12月1日